



NEWS RELEASE

2013年1月4日
東ソー株式会社

社長年頭挨拶（1月4日、東ソー本社での年頭訓話から抜粋）

明けましておめでとう。今年も皆さんや皆さんのご家族にとって、良い年になりますようお願いしています。

昨年を振り返ってみると、一昨年に引き続き、国内外ともに激動というより、混乱の年だった様に思える。国内政治は民主党内分裂から、消費税増税の三党合意、衆議院解散まで一気に進んだ。そして12月16日の総選挙の結果、自民党の圧勝となり、自公の新しい政治体制に移ることになった。外交では、尖閣諸島、竹島の領土問題で中国、韓国との関係が悪化し、特に中国との関係は習体制になり、益々難しくなっていくのではないかと心配している。海外では、欧州の財政問題、経済不振が続き、それに連動する形で中国経済、日本の輸出も悪化した。米国では、いわゆる「財政の崖」は回避したとの報道があり、ひとまず安心している。明るいニュースとしては、東南アジア、特に当社の関係会社があるインドネシアの高成長、ミャンマーの経済開放などがあった。

当社にとっては、一昨年11月の南陽事業所第二塩化ビニルモノマー製造施設（第二VCM）爆発火災事故への対応が一番の課題であった。事故調査対策委員会の報告書を6月に発表し、また安全改革指針を同月に策定した。その後、これらに基づく安全改革活動を南陽、四日市両事業所で精力的に進めているところである。第二VCM以外の南陽VCMについては、行政官庁の許可を得て、第一VCMを5月に、第三VCMを7月にそれぞれ再稼働させた。また、第二VCMの能力回復については、複数の選択肢を検討し、今後の想定交易条件による投資採算性、工期などの理由から、第三VCMの年産20万吨増強で対応することに決定し、11月に発表した。2014年10月完工予定である。

今年の取り組むべき経営課題は、第一に安全改革の推進である。安全改革の本格的な活動が始まって半年が経過した。2013年度の安全対策費は、2012年度下期と同様に各製造課に配布する予定である。コスト・パフォーマンスに優れた安全対策を期待している。安全改革はハード面とともに、ソフト、即ち心の問題も大きい要素であり、一人一人がモチベーションを上げて、いろいろな活動に参加し、真に安全な会社、職場を作ってもらいたい。第二に収益改善である。赤字事業の収益改善が急がれる。関係者と議論し、時期を逸さず、適切な対策を打っていくつもりである。また、収益力をつけた機能商品事業などで、更なる業容拡大、収益拡大に取り組んでももらいたい。第三は新增設計画の確実な実行である。今年後半には新增設プラントのすべてが出揃い、社内により活気が出るとともに当社のイメージが変わるのではないかと期待している。工事関係者は最後の追い込みで大変忙しく働いていると思うが、無事故、無災害での完工をお願いする。

今年は政権交代により、昨年とは違った政治、経済の動きがあると考えられる。情勢を的確に判断し、皆さんの協力、努力を得て、苦しい時期ではあるが、次の発展に向けた経営にあたる所存である。

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>